

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	白石町立有明東小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・どの項目においても、計画に沿って一年間しっかり取り組むことができ、「おおむね達成できている」以上の評価となった。 ・日々の協力的な学びにつながる対話活動を取り入れた授業の実施や特別支援教育の取組など、専門性と意識を向上させながら取り組むことができた。 ・「業務改善・教職員の働き方改革の推進」については、より一層推進していく。
2 学校教育目標	生きる力を身に付け 学校・家庭・地域の思いを受け継ぐ 東っ子の育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 進んで学ぶ子ども【知】 確かな学力・知恵を磨く(表現力) ② さわやかな子ども【徳】 やさしい心・人と関わる力を培う(自己肯定感・コミュニケーション力) ③ たくましい子ども【体】 健康で元気な態度を育む(心の安定)

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1) 共通評価項目				主な担当者				
重点取組		具体的取組	最終評価					
評価項目	取組内容		達成度(評価)		実施結果	学校関係者評価		
●学力の向上	○様々な場面で交流活動の充実と表現力の向上	○「協力的な学びにつながる交流活動を取り入れた授業を行っている」の質問に対して肯定的な回答をする職員割合を80%以上にする。	・協力的な学びの場を醸成できる課題やめあての在り方を、教材研究・児童理解の双方から探る。また、研究授業や理論研究を通して、具体的な授業の姿を確立していく。	A	「協力的な学びにつながる交流活動を取り入れた授業を行っている」の質問に対して肯定的な回答をした職員は86%であり、中間評価に比べるとやや減少した。しかし、目標であった80%は達成しており、「よかったです」と回答する職員割合は57%と24%も高まった。今後も、様々な場面において協力的な学びにつながる交流活動を取り入れることができるよう、研修の場を計画的に推進していく。	A	・適正な最終評価がなされていると思うが、職員のみ回答割合のみが成果指標になっているので、今後は児童側が実際に「学力の向上」に繋がったのかを評価できる指標も必要。	学力向上コーディネーター 研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「自分や友だちのよさを認め、仲良く活動することができる」の質問に対して「よくあてはまる」という児童を60%以上にする。	・自分のよさに気づき、他者への思いやりの心を育て、仲良く活動することができるような取組や指導を工夫する。 ・日常の活動に加えて全校での取組である「キラキラカード」を推進していくことで、自他のよさに気づくことができるようにする。	A	「自分のよさを知っている」「友だちのよさを知っている」という項目に対して「よくあてはまる」と回答した児童はそれぞれ7%、85%と、どちらも増加した。「自分のよさを知っている」という項目に対して肯定的な回答をした児童は92%で、昨年度よりも10%増加している。日常の活動に加えて、全校でキラキラカードを書いたり校長先生からのキラキラカードの紹介を放送で聞いたりしたことで、自己肯定感が大変高まっている。	A	・東小を出てからも、「人を思いやり」「自分を大切に」立派な大人の東っ子になってくれると思う。	特別活動部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○小さないじめ事案であっても見逃さないように、報告・連絡・相談をしようとする職員の割合を100%にする。 ○「学校は、いじめをしない思いやりの心が育つような教育を行っている」という保護者の割合を70%以上にする。	・小さないじめ事案であっても、関係者の話し合いやケース会議を行い、事案を把握するように務める。 ・児童に関する情報共有を定期的に行い、職員全体で共通理解を図る。 ・児童観察や定期的なアンケートで実態を把握し、問題行動やいじめに迅速に対応する。	A	「学校はいじめをしない思いやりの心が育つような教育を行っている」という質問に、肯定的な回答をしたのは97%であった。肯定的な回答をした割合に変化はないが、「よくあてはまる」という回答が21%から31%に10%増加していることから、これまでの取り組みが効果的であったことが考えられる。心のアンケートでの実態把握や教育相談の実施により、児童の実態を把握することができ、適切な対応につながった。加えて、道徳の授業や縦割り活動、キラキラカードの取り組み等により、思いやりの心が全校的に広がっている。	A	・「いじめの未然防止」の環境が整っている。 ・行事等で学校を訪問するたびに、みんな仲良く楽しそうにしているのが印象的だった。 ・たくさんの交流は子どもたちの距離をぐっと縮め、たくさんの笑顔を生み出した。「思いやり」がいじめを包んでくれたのではないのか。	生活指導部
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれると思う」と回答した児童生徒80%以上にする。 ●「将来の夢や目標を持っている」という肯定的な回答をした児童生徒80%以上にする。	・日頃の帰りの会やお便りなどで、声掛けをしたりよいところを伝えたりする。 ・キャリアパスポートを活用し、行事ごとにより振り返りさせ、いつでも児童に自分の足跡を確認させるようにする。	・「先生はあなたのよいところを認めてくれると思う」という項目に対して、肯定的な回答をした児童は97%であった。高い割合を継続しているため、今後も日頃の声掛けや称賛を続けていく。 ・「将来の夢や目標を持っている」という項目に対して、肯定的な回答をした児童は86%であった。地域の方々からの協力を得たり外部講師を積極的に招聘したりしたことで、多様な考え方に触れ、選択肢の幅に広がりが見受けられる。	A	・先生方への一言、一言が子どもたちの力になっていると思う。 ・教師や職員の児童への接し方がやさしさにあふれている。大切な「いのち」を預かっているという思いに満ち溢れている。	A	特別活動部
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○「命を大切に、健康や安全に気を付けて生活ができる」児童の割合を90%以上にする。 ○進んであいさつができる児童の割合を90%以上にする。	・正しい廊下歩行のしかた「は・さ・み」と、安全な遊び方について、ルールを徹底し実践力を高める指導を行う。 ・学年に応じた挨拶の指導をする。また、定期的に振り返りの時間を設け、意識付けを行う。 ・月の生活目標と関連させた指導を職員輪番で行う。	A	・「前期よりもさらに意識して生活する子どもが増えている。あいさつについては、5つのあいさつレベルを意識して、日常生活を送ることができた。廊下歩行については、「はさみ」の合言葉が定着してきたこと、遊具の使い方や雨の日の過ごし方について全校へ放送したこと安全に対する意識が高まりが見られた。	A	・校長先生を先頭に「あいさつ」の高い位置づけを感じる。 ・本当に気持ちのよいあいさつをしてくれる子どもが多いと感じている。	生活指導部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日の推進や会議・研修等効率的に行い、事務作業や休暇をとれる時間を確保する。 ・月の時間外在校時間が45時間を超える職員の割合30%未満。 ・年次取得14日以上取得する(見込み)職員の割合60%以上を目指す。	B	・月の時間外在校時間が45時間を超える職員の割合は33%であった。また、年次取得平均は12日4時間であった。14日以上取得した職員の割合は15%で目標に届かなかった。 ・長期休業中の研修を精選したり、代表勤務者なく、年休を取りやすい環境を整えたりしたため、昨年度より大幅に年次取得日数が伸びた。休む必要がある時に休める職員室の雰囲気がある。	B	・職員が熱心な為に在校時間が伸びているのは悩ましい。 ・閉校で例年以上に多忙な中、年次取得が増えたのは大いに喜ぶべきことだと思う。 ・職員室内の休む必要がある時に休める雰囲気があることはとても大切でよかった。 ・健康を第一に取り組んで欲しい。	教頭
●特別支援教育の充実	○職員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門的支援や合理的配慮の提供が向上した教員の割合を100%にする。	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・全職員での児童理解・情報共有を図り、必要に応じてケース会議を開催する。 ・専門家や専門機関との連携を図る。	A	・特別支援教育に関する専門性が向上したことに、長く当てはまると回答した職員は29%に伸び、全体では100%に達した。 ・支援が必要な児童のケース会議を適宜行い、支援体制を整えながら適切な対応をとった。 ・特別支援学校の巡回相談を受けて、専門的な指導・支援の在り方を学び、児童の成長へつなげた。 ・支援が必要な児童の引継ぎに関する資料を各担任で作成した。	A	・誰一人いらない「いのち」は無いという原点が大切にされている。 ・支援体制の工夫や改善に努められ、一人ひとりに応じた対応をされていると思う。 ・細やかな手だてがなされている。	特別支援コーディネーター

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者	
重点取組		具体的取組	最終評価		
評価項目	重点取組内容		達成度(評価)		実施結果

○郷土への愛着を高める教育	○ふるさと「白石・有明」の「人、もの、こと」に目を向けさせる教育活動の充実	○地域への好意的な回答をする児童の割合を70%以上にする。 ○「地域と連携した教育を推進している」という保護者及び職員の割合を60%以上にする。	・活動の様子を掲示し、振り返ったり、地域のよさを共有したりする場をつくる。 ・地域の協力者には感謝の気持ちを伝え、双方向の思いが繋がる活動にする。 ・創立150周年事業を児童・職員・保護者・地域と協力して行う。	A	・地域への好意的な回答をした児童は99%であった。「地域と連携した教育を推進している」という項目に対して肯定的な回答をした保護者は95%、職員は100%であった。 ・「150周年記念事業」では、地域・保護者と連携し、すばらしい会となった。また、「感謝の会」では日頃お世話になっている方へ、児童は心をこめたメッセージを届けることができた。 ・「町探検」や「米づくり」等、学習支援する保護者も増えた。	A	・地域とのふれあいを大切にすることが、地元への愛着を生んでいくことを実践されている。 ・様々な行事等地域と一体となり、見ているも参加していても素晴らしいものになっていた。 ・学校の取組が地域の方下駄への郷土愛を再確認させる起爆剤になっていると思う。	学校行事担当(教務) 特別活動主任 教頭
---------------	---------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の協力的な学びにつながる交流活動を取り入れ授業が実践できた。また、タブレットを活用した交流も行われている。教員の専門性の向上と児童の学力向上とを意識した取り組みができた。 ・年2回の人権集会や「キラキラカード」の取組など、自他の良さを認め、自己肯定感を高めることができた。そのことが、いじめの未然防止などにもつながっていった。 ・支援が必要な児童や、対応が難しい事象については、素早くケース会議を開き、組織的に支援体制を組み、丁寧に対応することができた。また、全職員で状況を共有し、進めていくことができた。 ・保護者や地域人材、外部講師を招いた学習ができた。多くの方と交流し学ぶことで「思いを受け継ぐ東っ子」が育っていていると思う。 ・150周年・閉校という区切りの年で例年以上に業務が増えたものの、職員室に「休む必要がある時に休める雰囲気ある」ことは良かった。業務の効率化や在校時間の削減については、業務の精選や教材・資料の共有等を今後も積極的に進めていく。
--------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------